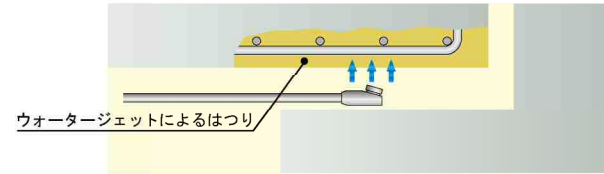


施工フローチャート

ウォータージェットシステムによるはつり



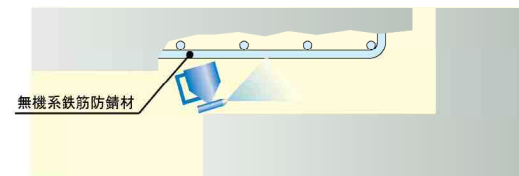
ウォータージェットシステムにより、コンクリート劣化部を確実に撤去します。コンクリートのはつり作業と同時に鉄筋表面の錆除去も行います。



鉄筋防錆材塗布



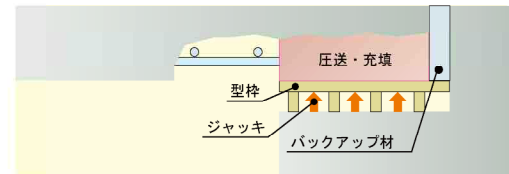
無機系鉄筋防錆材を、噴霧器またはハケ塗りにより鉄筋に防錆処理を行います。



断面修復材（繊維補強セメント複合材）充填



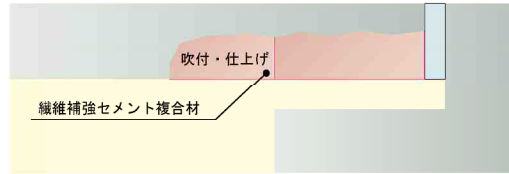
型枠及びバックアップ材を設置後、高強度繊維モルタルM1を所定の配合で練混ぜ、圧送・充填を行います。



断面修復材（繊維補強セメント複合材）吹付け



引き続き高強度繊維モルタルM1を吹付施工後、左官仕上げにて表面を仕上げます。硬化養生後に型枠脱型を行い、完成となります。



株式会社デーロス・ジャパン

本社 〒921-8005 石川県金沢市間明町2丁目70番地
TEL (076) 229-7260 FAX (076) 229-7261

仙台営業所 〒981-3133 宮城県仙台市泉区泉中央4丁目1番3号セントラルビル B101
TEL (022) 346-7184 FAX (022) 346-7185

新潟営業所 〒950-0925 新潟県新潟市中央区弁天橋通1丁目8番23号
TEL (025) 287-7312 FAX (025) 287-7580

富山営業所 〒939-8213 富山県富山市黒瀬188
TEL (076) 423-1335

敦賀営業所 〒914-0028 福井県敦賀市中80-1-15
TEL (0770) 47-6370 FAX (0770) 47-6371

岡山営業所 〒701-1152 岡山県岡山市北区津高651-2 ヲラナ津高202
TEL (086) 239-8502 FAX (086) 239-8133

福岡営業所 〒811-1213 福岡県那珂川市中原5丁目45 オフィス17那珂川IV1号室
TEL (092) 408-7683 FAX (092) 408-7685

【取扱店】

DEROS JAPAN

床版端部下面補修工法

旧:NETIS登録番号 HR-150005-A

床版端部下面補修工法は、維持補修が難しい床版端部を確実に修復する工法です

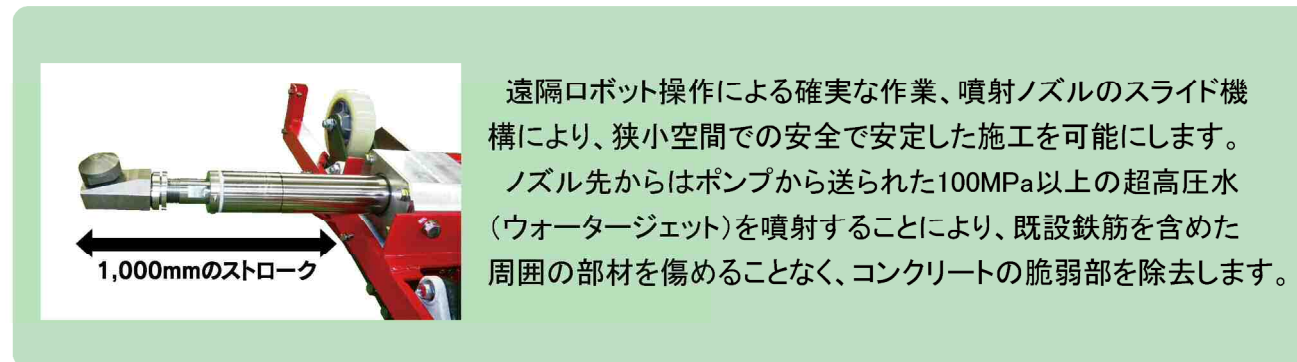


株式会社デーロス・ジャパン

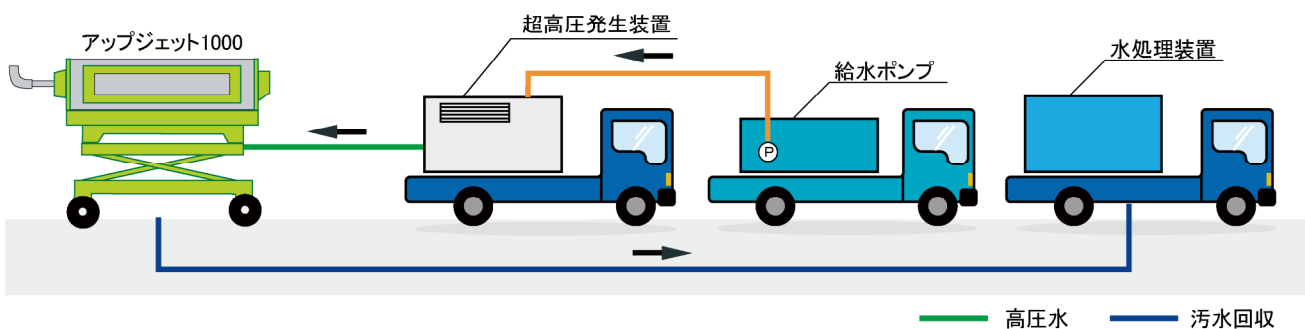
ウォータージェットシステムによる劣化部除去

従来のはつり作業では、施工が困難とされる床版端部の劣化箇所を専用のアップジェット型ウォータージェットはつりロボットで確実に除去することが可能です。

施工状況写真



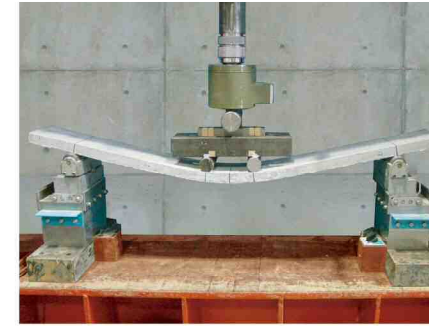
使用機械配置例



はつりシステム使用機械の規格

水圧 (MPa)	150~225	電圧 (V)	200
ノズル吐出量 (ℓ/min)	80~40	電流 (A)	1.3
出力 (KW)	0.2	重量 (kg)	400

繊維補強セメント複合材による断面修復



「高強度繊維モルタルM1」は、多量の高強度短繊維混入により補強を行ったポリマーセメントモルタルです。従来のポリマーセメントモルタルに比べ、ひび割れ抑制効果、凍結融解性能、中性化等の耐久性に優れます。また、充填性および圧送を改善し、施工コストの削減、工期短縮を可能にした吹付け・手塗り兼用の「断面修復・表面被覆材」です。

物性値

●NEXCO規格 吹付け工法による断面修復の性能照査 (JHS432) 試験値

要求性能	試験項目	規 準 値	試験値
断面の修復に関する性能 (JHS432)	ひび割れ抵抗性	幅0.05mm以上のひび割れが発生しないこと	ひび割れ無し
	コンクリートの付着性	コンクリートと断面修復材との付着強度は、1.5N/mm ² 以上	3.0N/mm ²
	鉄筋背面への充填性	有害な空隙がないこと	有害な空隙無し
	振動試験	吹付け作業時に材料のはく離・はく落が無いこと。仕上げ面にひび割れが無いこと。コンクリートとの付着強度が1.5N/mm ² 以上	はく離・はく落無し 3.4N/mm ²
	寸法安定性	0.05%以下	0.013%
耐久性能に関する性能 (JHS432)	熱膨張性	断面修復材の熱膨張係数は2.0×10 ⁻⁵ /°C以下であること	1.3×10 ⁻⁵ /°C
	中性化抵抗性	補修設計で定めた中性化速度係数と同等 (26週間後)	1.1mm 0.156mm/√週
	凍結融解抵抗性	負荷後の相対動弾性係数が60%以上かつ負荷後のコンクリートと断面修復材との付着強度は1.5N/mm ² 以上	103.3% 3.0N/mm ²
力学的性能 (JHS432)	遮塩性	補修設計で定めた塩化物イオンの拡散係数と同等	0.841cm ² /年
	圧縮強度	補修設計で定めた設計基準強度以上	49N/mm ²
その他	静弾性係数	補修設計で定めた値と同等	18.3kN/mm ²
	フロー値	—	135±20mm
	短繊維混入率	—	0.9vol%以上

NEXCO規格 左官工法による断面修復の性能照査 (JHS416) 適合品

標準使用量

	高強度繊維モルタルM1	水
1袋当り	20 kg	3.6 ± 0.2 kg
1m ³ 当り	1760 kg	316.8 kg

断面修復工比較概念図

